# 葛西海浜公園:西なぎさ清掃活動 2009年度報告書と今後の展望

~ 『西なぎさ発:東京里海エイド』発足の歩み~

DEXTE-K 2010年3月作成

#### 葛西海浜公園:西なぎさ清掃活動の動機



江戸川区臨海町に住んで10数年になります。いつも週末にランニングしますが、途中で西なぎさを散歩するのが習慣です。 その際に日頃なぎさに漂着しているゴミが多少気になっていました。 でも、キレイになればなぁと感じながらも特に何にもせず過ごしていました。

ところが、たまたま水族園の方々が地引網をしているのと出会いました。 すると地引網には様々な魚たちがかかっていたのです。 そして、なんとその中に鮎の稚魚たちがいたのです。

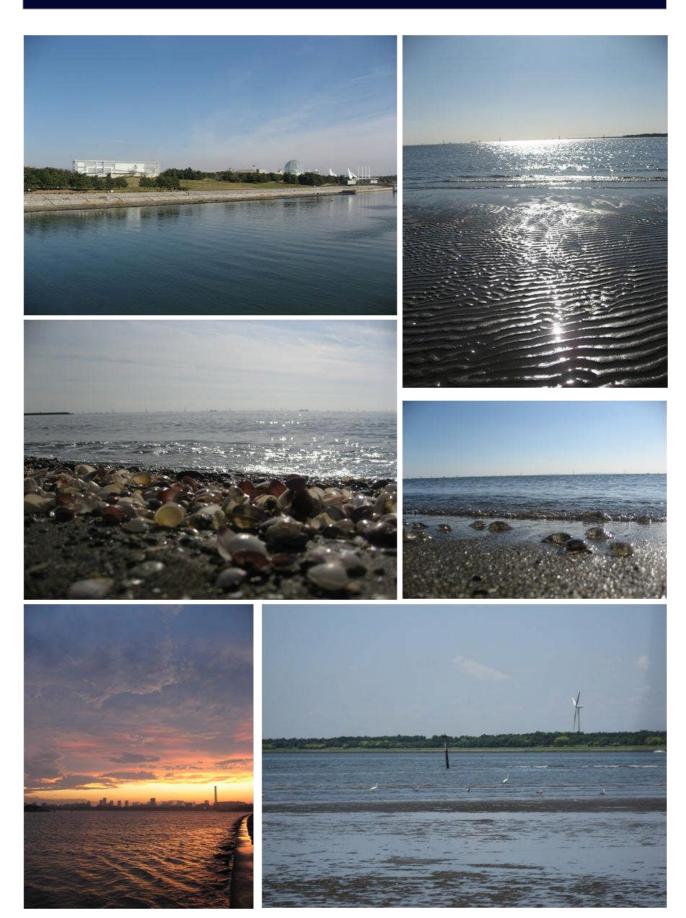
#### 正直いってビックリしました。

いろいろ話を聞いてみるとサヨリやスズキの稚魚もいるとのこと…。 ボラだけではなかったんですね…。

西なぎさに、しっかりと<mark>江戸前の海が回帰</mark>しはじめていたんです。 ずっと近くに住んでいてそんなことも知らなかったなんて・・・、**もったいない**!

なぎさのグランドラインから、特に冬は富士山も良く見えます。 同じ町に住むものとして、もっと地元の良さを大切にすることが 大切なのでは…?と考えはじめました。それから、週末のランニングの際に できる限り西なぎさの清掃活動をする様になりました。

## 葛西臨海公園&海浜公園の美景



DEXTE-K

## 葛西臨海公園&海浜公園の美景













## 葛西臨海公園&海浜公園の美景

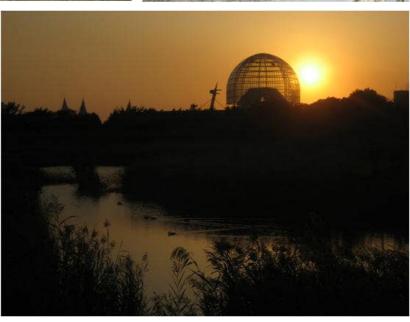






















春になると 山の雪融け水が多くなり、 川の水量が増すんだ。



そうするとビックリするほど大きなものが 川から海に流れてくるんだ。 たとえば、タイヤ、家電製品、フトン...。 こまったもんだ...。









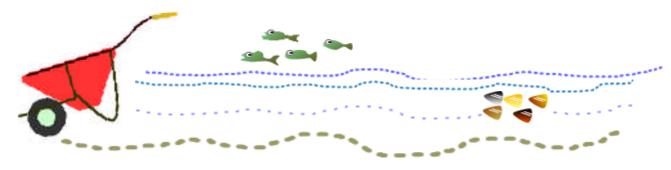




7月から8月は 台風シーズン。 台風が去った後の 漂流ゴミの量は大変!

写真の何十倍もの漂流ゴミの量が 実際にはあるのだ! 西なぎさをキレイな状態で楽しむには みんなの協力が必要なのさ!!















夏のあいだは どうしても水辺で 遊んだ人たちが置き去りに していったゴミが目立つ...



西なぎさには、ボク達いろんな 水生生物がすんでいるので、 もっと気を遣ってほしいよな…。 ペットボトルのキャップだけでも 大分集まるんだ。











平成21年は10月8日に 台風18号が通過。 その時には ものすごい数の

漂流ゴミが西なぎさに漂着したんだ。 とても1人や2人の力では なぎさはキレイにならなない…。 応援してくれる人がいてくれたらなぁ…。













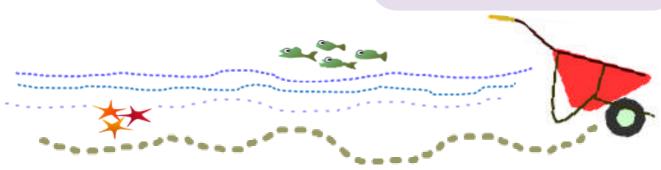


11月からは 季節風の風向きが変わり 北風になるんだ。

そうすると

めっきり漂流ゴミの量は 少なくなるんだ。 西なぎさは遠浅の干潟なので、 風向きの影響を受けやすいんだね。 でも、ゴミはどこかに

流れてないだろうか...?









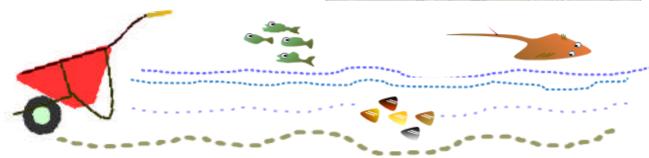




冬の間は 西なぎさへ たくさんの水鳥たちが 越冬でやって来ます。

でも冬鳥たちが、漂流ゴミを 誤飲してしまわないか、ちょっと 心配なんだぁ...。





#### 東なぎさ大クリーンアップ作戦にも参戦!











東なぎさの 大クリーンアップ作戦にも 参戦しました!



東なぎさには多くの野鳥や草花、 それに希少な水生生物等が 生息していることを清掃後に いろんな専門家の方々から教わりました。





### 西なぎさ:漂流ゴミ ~いろいろなゴミ~



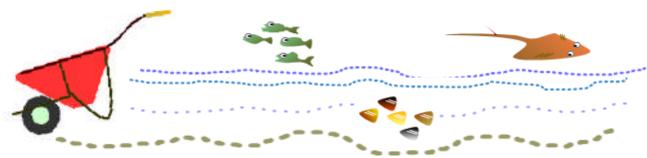












### 西なぎさ:漂流ゴミ ~漂着いろいろ~



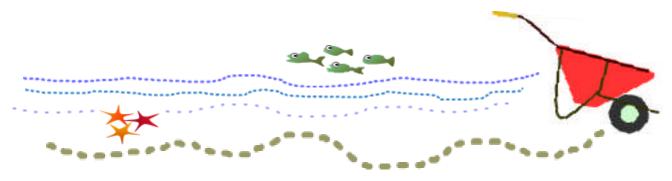














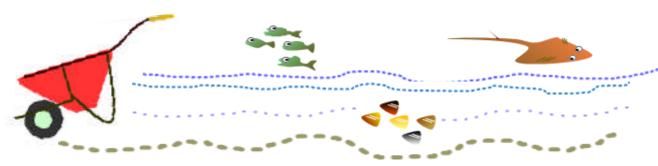












#### 漂流ゴミ収集でどれくらいCO<sup>2</sup>排出抑制できた?

一般のレジ袋は高密度ポリエチレン(HDPE)製で、比重は概ね0.94以上です。 また厚さは一般のレジ袋で0.015mmから0.03mmでです。

従って、レジ袋相当のビニル系ゴミに換算すると: 1kgあたりの体積は、 1kg÷0.94×1000=1063.8cm<sup>3</sup> となります。

西なぎさでの漂流ゴミのほとんどがレジ袋系のビニル系ゴミですので、これより収集した漂流ゴミを平均0.03mmの厚さのレジ袋と仮定すると、1kgのレジ袋相当のビニル系ゴミの面積は、なんと!

1063.8÷(0.03÷10) = 354,600cm<sup>2</sup> = 35.4m<sup>2</sup> にもなります。

一方、一般の地上樹木の葉は1㎡あたり1年で約2.66tのCO<sup>2</sup>を吸収します。 西なぎさでので<mark>植物性プラントンのCO<sup>2</sup>吸収量は</mark>どれだけかを計算すると、 海水の透明度とプランクトンの散在密度によって光合成効率は異なりますが、 仮に一般の地上樹木の葉の20分の1(約5%効率)としても

35.4平方メートル×2.66÷20≒4.7kgCO<sup>2</sup>/m\*・年間 となります。

西なぎさでの漂流ゴミ清掃活動での2009年の収集量は概算ですが、 1日あたり平均約20kg程度収集していますので、

4.7×約20kg×延べ28日=2,632kg≒約2.6トン!

CO2

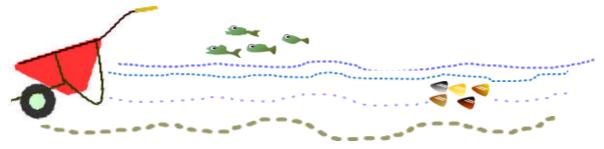
つまり西なぎさでの漂流ゴミの収集活動で、

なんと<u>約2.6トン分相当のCO<sup>2</sup>排出抑制をしたという計算</u>になります!!

ここでの植物性プランクトンの光合成効率については仮定での計算ですが、 植物性プランクトンそのものが自然環境の中で展開する O2

- 1) 光合成活動そのもの効果
- 2)食物連鎖の自然環境に対する役割効果

を考慮すると、生物多様性保全へも一役かっていますので、 漂流ゴミの収集活動は循環型社会に大きく貢献していると言えます。



#### どうしたら漂流ゴミがなくなるのか?

まずは、漂着ゴミをコツコツと拾うしかありません。ですが…それを繰り返すだけでは根本的な解決にはなりません!

#### では、どうしたらいいのでしょう?

漂流してくるゴミのほとんどは、荒川と旧江戸川より流れてきます。

では、荒川と旧江戸川護岸にあるゴミの清掃をすればいいのでしょうか?

すでに「NPO法人: 荒川クリーンエイド・フォーラム」様の実績・貢献と 提唱の通り水辺のゴミを収集しその種類と数を確認することで、 市民ひとりひとりがゴミ抑制に気づき、上流にまでさかのぼり水辺を きれいにしていくことが重要です。

しかしながら、悪質的なゴミの放置や無意識でゴミが水辺に漂流してしまっている事例もあるのも実態です。

古来より日本人には、悪いことや嫌なことが起きると「水に流す」習慣があります。水資源のが豊富な日本ですので、汚いものや要らなくなったものを無意識のうちに「水に流す」習慣があることが恐らく根本的原因なのでしょう。

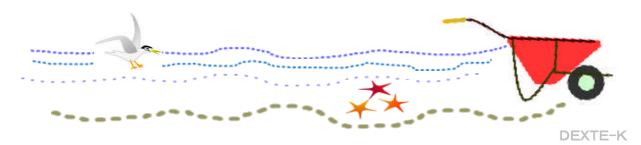
つまり、水辺のゴミがなくならないのは日本人のモラルの問題です。ですから、 水辺にゴミが落ちない様な社会の仕組みづくりや意識づくりが必要なのです。

社会のしくみやひとりひとりの意識を変えていくには、環境問題に対して意識 の高い人達のみでなく、市民全員参加での取り組みが必要であり、相当の 努力を必要とします。時間のかかる途方もない取り組みかもしれません…。

でも「生物多様性保全」と「持続性社会」を両立させた「都市と自然との共生」を考えると、必然的に取り組まなければならない課題です。

協働!

まずは産官学と使命感の強い市民やNPOの方々のの協力により、いろんな 方々に気づきや行動をおこせるきっかけづくりと場が大切であると考えています。



#### 市民と行政と専門家による協働事業へ!

関東圏の水辺の漂流ゴミの終着点でもある葛西海浜公園の"西なぎさ"では、 幼児から高齢者まで身近に「生物多様性」の存在を感じることができます。

「都市と自然との共生」を考えるにあたり、都市のプラス面とマイナス面を直接体験できる貴重な場所です。

そこで漂流ゴミを収集する一方で、葛西臨海公園を中心に活動する様々な専門家や学識経験者の話を聞くことのできる場を設け、産官学の連携を強化していくことが、「漂流ゴミ」問題解決の第一歩ではないかと考えました。

西なぎさでの「漂流ゴミ」のクリーンアップが主体の活動ですが、 葛西海浜公園管理事務と賛同してくださる専門家の方との協働により、

#### 『西なぎさ発:東京里海エイド』と称して、

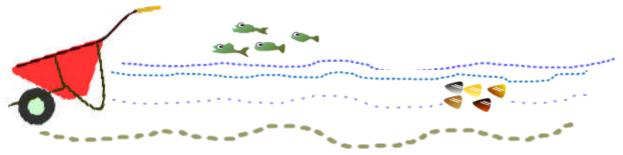
今年(2010年)の4月より、月1回(第3土曜日)定例化にて展開していく予定です。 東京都港湾局のご理解もあり、行政との"協働"作業となります。

#### 【具体的な活動日時】

是非一度、関心のある方は『西なぎさ発:東京里海エイド』に参加してきます様、 お願い致します。

真の意味での「都市と自然との共生」の実現に向けて、

一緒にはじめの一歩踏み出しましょう!



#### 西なぎさ発:「未来遺産運動」のネットワークへ!

葛西臨海公園・海浜公園では、多くのひとたちが自然環境に親しんでいます。 また様々な事業団体やNPO団体、環境・自然活動家の方々も公園の素晴らしさを 利用し、いろんな活動をひろげています。

そのような方々の為に、『西なざさ発:東京里海エイド』の今後の活動が、 「都市と自然との共生」を楽しむライフスタイルの一助になればと考えています。



また、さらには葛西臨海公園・海浜公園に携わるいろんな方々と、手を取り合い 日本ユネスコ連盟が主催する「未来遺産運動」へと展開できたら…と考えています。 「未来遺産」とは、100年後の子どもたちに長い歴史と伝統のもとで豊かに培われて きた地域の文化・自然遺産を伝えるための運動です。

西なぎさ発でいろんな方々と連携し、東京の「里海」を守り・育て、

「都市と自然との共生」を真の意味で実現させていきながら、

次世代の為に「江戸前の海」の再生ができたらどんなに素晴らしいことでしょう…。

ー輪車の軌跡が、コミュニケーションを通じて「都市と自然との共生」を次世代に上手に 伝えながら、徐々に大きなネットワークを生んでいくことを切に思います。





